



TikTokアルゴリズムとトレンド音源

トレンド音源の威力を最大化する



おすすめ露出確率UP

TikTok側が流行らせたい音源を使用することで、アルゴリズムの優遇を受けやすくなり、フォロワー外への露出（拡散）が増えます。



評価ロジックの方程式

拡散力 $\propto$
「初速の視聴維持率」×「音源の新規性」×「総使用数」
流行り始めの波に乗ることが重要。



スピード勝負：24h以内

急上昇マーク（矢印）がついた音源を見つけたら、鮮度が命。24時間以内に投稿することで先行者利益を得られます。



フック（引き）としての効果

「聞いたことある曲」は視聴者の耳を引きつけ、スワイプの手を止める強力なフックになります。

実装アクションフロー

1

音源リサーチ

投稿作成画面の「楽曲」→「急上昇」タブをチェック。または、おすすめ欄で何度も流れてくる曲を特定する。

2

即「セーブ」して企画適用

使えそうな曲は即保存。ダンス動画でなくても、Vlogや解説動画のBGMとして薄く敷くだけでも効果あり。

3

投稿と検証

音源の音量を調整（メイン音声の邪魔にならない程度）し投稿。インサイトで流入源を確認する。



ビジネス系・教育系動画でも、トレンド音源を「BGMとしてうっすら使う」だけで、おすすめ露出の確率が上がります。

コメント欄の活性化戦略



コメントは 「資産」

コメント数が増えると
視聴維持率が伸び、
おすすめ表示の
確率が上がります。

視聴者が
「書きたくなる」
仕掛け作りが
バズへの近道です。

📈 エンゲージメント率UP



問いかけ（参加ハードルを下げる）

- ✔️ 二択で聞く（例：きのこ派？たけのこ派？どちらですか？）
- ✔️ 空欄補完（例：あなたの推しの〇〇を教えてください）
- ✔️ 経験シェアを促す（「あるある」と思わせ共感を誘う）



ツッコミどころ（あえて隙を作る）

- ✔️ わざと余白や謎の物体を映り込ませて「あれ何？」を誘う
- ✔️ 散えての小さなミス（誤字など）で指摘コメントを誘発
- ✔️ 完璧すぎない「人間味のある隙」が親近感を生む



導線設計（議論と回遊）

- ✔️ 固定コメントで動画の補足や裏話を記載し滞在時間を延ばす
- ✔️ 「続きや詳細はコメント欄で」と誘導し、コメントを開かせる
- ✔️ 関連する過去動画への誘導を行い、回遊率を高める

※コメントへの「いいね」返しや返信も、初期段階では非常に有効なファン化施策です。

✂ エフェクト・テンプレートの活用

流行を取り入れる3つのポイント



流行を最短実装

CapCutやTikTok内のテンプレートを使えば、高度な編集技術がなくても一瞬でトレンド動画が完成します。



1テーマ = 1ギミック

エフェクトは詰め込みすぎないこと。「過剰演出」は視聴者を疲れさせます。1動画につきメインは1つに絞りましょう。



差別化：「自分化」する

テンプレをそのまま使うのではなく、素材、色味、テロップでオリジナリティを出し、自分の世界観に寄せます。



探し方のコツ

TikTok検索で「テンプレート」と入力したり、CapCutアプリ内のランキングから今流行っている型を見つけましょう。

活用のメリット



制作時間の圧倒的短縮

ゼロからエフェクトを組む時間を短縮し、最も重要な「企画」や「撮影」にリソースを割くことができます。



クオリティの担保

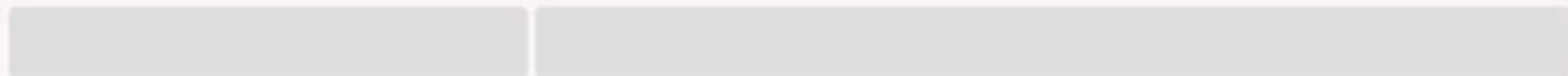
プロが作成したテンプレートを利用することで、編集センスに自信がなくても一定以上のクオリティを出せます。



テンプレートの流行サイクルは非常に早いです。「鮮度」が命なので、流行り始めたらすぐに乗かるスピード感が重要です。

TikTok特有のテンポ感

一般的な
動画



TikTok
スタイル



0 - 2秒

結論・驚きで掴む

冒頭2秒で勝負が決まります。一番言いたい結論や、視覚的なインパクト（動き）で「おっ」と思わせ、スワイプを阻止します。

2 - 5秒

ベネフィットの提示

「この動画を見ると何が得られるか？」を提示します。視聴者が**自分事化**できるメリットを早急に伝えます。

5秒以降

3秒ごとの画面変化

同じ画が3秒続くと飽きられます。ズームイン・アウト、カット割り、テロップの変化など、常に**視覚的刺激**を与え続けます。



Instagramよりも展開を早く。BGMのビートに合わせた**リズムカルな編集**が完全視聴への鍵です。